



# 感染予防対策を継続しましょう

市新型コロナワクチン接種推進グループ ☎ 65-1522

新型コロナウイルス感染症には、一人一人の咳エチケットや手洗い、マスク着用などの実践が重要です。感染力が強い変異株にも、基本的な感染予防対策が有効とされています。感染拡大防止へ、ご協力ください。

## 1. マスクは正しく使おう

- ①鼻の形に合わせて、隙間を防ぎましょう。
- ②顎の下まで伸ばし、顔に隙間なくフィットさせてください。

会話時はマスクを着用

- ・鼻出しマスクは×、顎マスクも×。
- ・着けたら外側は触らない。
- ・ひもを持って着脱する。
- ・品質の確かな、できれば不織布マスクを。

ポイント

## 2. 手洗い・手指消毒はこまめに

こんなタイミングには必ず！

- ・共用の物に触った後
- ・食事の前後
- ・公共交通機関の利用後 など



指先や爪の間、指の間、手首も忘れず洗いましょう！

ポイント

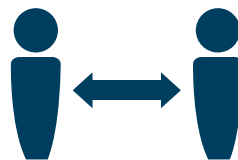
## 3. 目指そうゼロ密

一つの密でも避けましょう。

密閉  
しない



密接  
しない



密集  
しない



ポイント

人と会うときは

- ・人と十分な距離を保つ。
- ・混雑している場所や時間を避ける。
- ・オンラインの利用や時差出勤をする。
- ・屋外でも密接密集を避ける。

飲食するときは

- ・少人数、短時間で大声を避ける。
- ・ガイドラインを守った店を利用する（アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など）。
- ・テイクアウトやデリバリーも活用する。

### 接種を終えた人も 感染対策の継続を

新型コロナワクチンを接種した人でも、感染することがあります。「接種が終わったから大丈夫」と思い込まず、マスクの着用やソーシャルディスタンスなど、これまで通りの感染対策を継続しましょう。

### 妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の人へ

産科医療機関にある「新型コロナウイルス（メッセジャー RNA）ワクチンについて」を読み、主治医とよく相談して接種を受けてください。妊婦が接種できる医療機関は、愛媛労災病院です。コールセンターでのみ、予約を受け付けています。